



雪をれて頭巾掛けし錦鼓 還山
 乳をを走家ものうハ鉢と記 馬佛
 ちんちんは瓢をえきぬをち 瓶文
 藤月ふゆゆややや鉦とさき 王水
 さうたる海ハかきささるたま 瓊竜
 おろろ子う乳ををぬーえ鉦叩 止靜
 舞いこみし舞もらやまのめ人 舎木
 月の夜を何とあるもやそら鼓 春好
 おろろこは思向やさるう鉦叩 可來
 さらさらるるのりくのあつたれ 魚汀
 月影や雲乃たりけらるる交 清下
 辻路の門もさるるさるるさ 李水
 うけ馬のぬういをもてぬと記 一同
 さらさらるるるるるるの地も 市風
 ちんちんちんちんかすぬるもち鼓 如衡
 さらさらささささくきんはは鼓之 坦白
 さらさらささささあさるるも 幾山
 端入るる 柳の下に げらたさ 馬來

月の夜

か、さ、海

